

LOAの自動車への装着のポイント



汎用 LOA(LOA-R6GP)

☆乗用車には原則としてエアークリーナーボックスとバッテリーに装着します。

更に快適な乗り心地を追及される方へは、サスペンションやラジエターホース等への装着をお勧めします。詳細はお問い合わせください。

☆トラックやバスなど大型車への装着につきましてはお問い合わせください。

■エアークリーナーボックスへの装着

エアークリーナーボックスの中央部分か或いはエンジンに近い側のエアークリーナーボックスに装着してください。(インテークパイプでも構いません)

貼り付ける場所を決め、貼り付け面を良く拭いて汚れをきれいに拭き取り、LOAの粘着保護テープを剥がし、しっかりと貼り付けてください。その上から付属の押さえシールでしっかり留めてください。

・ターボ車の場合、インタークーラーのコア周り(サイドタンク等)に装着すると効果的です。

※ターボ車のタービン取付位置から約40cm以内へのLOAの装着は絶対に行わないでください。高温高熱のため！



■バッテリーへの装着

バッテリーの+端子の赤いキャップの上に、エアークリーナーボックス同様に貼り付けてください。赤いキャップが無い場合は、同じく+側のコードに巻き付けて、その上から付属の抑えシールでしっかり巻いて留めてください。



■ハイブリッド車、外車や国産の高級車への装着

ハイブリッド車の場合、バッテリーはシートの下に格納されていますので、エンジンルーム内の配線の中でLOAを貼れる(スペースのある)ところに貼ってください。(右の画像参照)

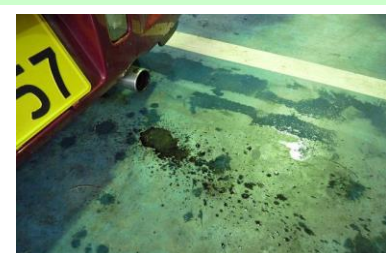
また、外車や国産高級車の場合の多くは、バッテリーはトランクの下にあり、エアークリーナーもエンジンフードで覆われて、どこにあるか素人では分かり難いと思いますので、この「装着のポイント」を持って、車を購入されたディーラーか修理工場の専門家に装着を依頼されることをお勧めします。



スラッジにご注意！

LOAを装着したら、エンジンを2000回転ぐらいまで空吹かしするか、5分程度運転してください。

装着後しばらくはマフラーからスラッジ(鉄粉などのエンジン内に溜まったゴミやオイルカスなど)が水と一緒に流れ出します。服やカバなどに付着しないようにご注意ください。



☆装着時の注意！

エンジンをかけたままの装着は危険ですので、絶対に行わないでください。必ずエンジンを止めてから装着してください。